

会 議 録

行 田 市 教 育 委 員 会 平 成 2 8 年 第 6 回 5 月 定 例 会

招集年月日	平成28年5月20日(金)	開会場所	行田市教育委員会 2A会議室		
開閉の時刻 及び宣言者	開会5月20日(金) 午後3時00分 閉会5月20日(金) 午後4時00分	教育長	森 郁子		
教育長	森 郁子	教育長職務代理者	岸田 昌久	仮議長	
席次番号	出席の教育長 及び委員氏名	摘 要			
1	森 郁子				
2	岸田 昌久				
3	町田 祥子				
4	鹿山 高彦				
5	増田 雅久				
議 事 参 与 者			書 記		
学校教育部長		小河原 勝美	書記長 内田 親生		
生涯学習部長		門倉 正明	書記次長 吉田 武司		
学校教育部次長			書 記 川鍋 和史		
兼学校教育課長		柿沼 耕一			
教育総務課長		内田 親生			
学校教育課 主幹		関 泰伸			
学校給食センター所長		新井 康夫			
ひとつくり支援課長		杉山 孝義			
スポーツ振興課長		細谷 博之			
文化財保護課長		中島 洋一			
図書館長					
兼視聴覚ライブラリー館長		石川 隆美			
教育研修センター所長		春田 盛男			

会議事件名		顛	末
会 議 の 進 行 状 況	議案第32号 行田市立小・中学校 学校 評議員の委嘱について	市民憲章唱和	
		教育長 本日の会議日程は議案5件、全て公開としたいが、良いか。	
		【全委員承認】	
		教育長 日程に先立ち、4月定例会の会議録について事務局に報告を求 める。	
		書記次長 4月定例会、会議録報告	
		教育長 何か意見等あるか。	
		【全委員承認】	
		教育長提案、書記次長議案朗読	
		教育総務課長 議案第32号について説明する。 本案は、行田市立小・中学校 学校評議員の任期満了に伴い、そ れぞれ学校長から推薦のあった者を新たに学校評議員として委 嘱しようとするものである。 議案の委嘱予定者の一覧表をご覧いただきたい。今回の委嘱予 定者は小学校が81名、中学校が42名の合計123名である。 新任35名、再任88名で、その内2回目の者が31名、3回目 の者が57名となっている。なお、任期は平成28年6月1日か ら平成29年3月31日までである。 次に行田市立小・中学校 学校評議員の設置状況をご覧いた だきたい。まず、小・中学校の委嘱人数の推移だが、過去5年間の 推移を見ると平成24年度の128人から毎年1人から2人ほ ど減少している状況である。 また、年齢構成だが、平成28年度については60歳代が最も 多く55名であり、全体の44.7%で、続いて70歳代の 2	

<p>会 議 の 進 行 状 況</p>		<p>4名で、19.5%であり、次いで50歳代、40歳代の順となっている。</p> <p>男女別の比率については、男性が98名で79.7%、女性が25名で、20.3%となっている。</p> <p>1校あたりの評議員の人数については、運営要綱では5名から8名と定められており、28年度は、平均すると小学校で5.1名、中学校で5.3名となっている。学校毎の人数では、小学校は、6名が最大である。その他の15校は5名である。また、中学校では2校が6名、その他の6校は5名となっている。</p> <p>教育長 何か質問等はあるか。</p> <p>岸田委員 再選年数とはどのようなことか。</p> <p>教育総務課長 表中の1は初年の者で、2は2年目、3は3年目である。1年毎の改選となるが、要綱では、3回まで再選が認められている。</p> <p>増田委員 評議員の年代別構成を考慮しているのか。60歳から70歳代が多い。年齢の若い世代と60歳から70歳代の年齢構成を考えて委嘱できないのか。</p> <p>教育総務課長 評議員は、学校長の推薦を受けて委嘱するので、年齢構成まで把握するのは難しい。</p> <p>増田委員 PTA会長を学校評議員に選んでいる学校もあり、若い世代の意見も聞けるほうが良いのではないか。</p> <p>教育総務課長 意見があったことを校長に伝える。</p> <p>岸田委員 この制度は、始まって何年にもなるが、地域に開かれた学校と</p>
--	--	---

<p>会 議 の 進 行 状 況</p>	<p>議案第33号 行田市就学支援委員会委員の委嘱について</p>	<p>して、この制度が始まった。学校評議員制度の意義を再確認して、校長へ伝えてほしい。</p> <p>町田委員 学校評議員は、学校長の推薦によるが、経歴、役職等が同じ候補者がいる。分野が異なる人材が入るとよい。全員を集めて、研修会を開いてもよいのではないか。</p> <p>教育総務課長 検討する。</p> <p>岸田委員 評議員へ支払われる謝金の額はいくらなのか。</p> <p>教育総務課長 年額6,000円である。</p> <p>教育長 他に何か質問等はあるか。</p> <p>【全委員承認】</p> <p>教育長提案、書記次長議案朗読</p> <p>学校教育課長 議案第33号について説明する。 行田市就学支援委員は、平成27年度より2年間の委嘱をしたが、平成28年度当初の人事異動に伴い、特別支援教育部会、養護部会及び福祉職員に変更があったため新たに委嘱するものである。なお委嘱期間は、行田市就学支援委員会条例第4条に「委員の任期は2年とする。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする」に基づき平成29年5月31日までとする。別紙の9番、10番、11番の者が、それに当たるものである。</p> <p>教育長 何か質問等はあるか。</p> <p>岸田委員</p>
--	---------------------------------------	--

<p>会 議 の 進 行 状 況</p>	<p>議案第34号 行田市学校給食調査研究 委員会委員の委嘱について</p>	<p>就学支援委員会との関連で、今年度、教育研修センターが始めた新しい取組については、保護者と学校の信頼関係が大切である。この取組に期待している。</p> <p>教育研修センター所長 この事業は、幼稚園年長から新1年生を対象とした早期療育事業である。子どもの就学相談が、就学時にできなかった場合でも、子どもと保護者の願いに沿った支援を行うものである。</p> <p>教育長 他に何か質問等はあるか。</p> <p style="text-align: center;">【全委員承認】</p> <p>教育長提案、書記次長議案朗読</p> <p>学校給食センター所長 議案第34号について説明する。 本案は、「行田市学校給食調査研究委員会委員」の任期満了により、新たな委員を委嘱するものである。 本委員会は、本市の学校給食に関する事項を調査研究するため、「行田市学校給食調査研究委員会設置要綱」に基づき設置され、委員13名で組織される。 委員予定者は、小・中学校長2名、小・中学校食育主任6名、小・中学校PTA代表4名、教育委員会事務局職員1名である。 任期については、平成28年6月1日から平成29年5月31日までの1年間で、今回は、新任が10名、再任が3名である。</p> <p>教育長 何か質問等はあるか。</p> <p>増田委員 食育主任の業務の具体的な内容とその効果は何か。</p> <p>学校教育課長 食育主任は、給食に関する指導や、栄養、保健に関することを通じて食事の意義を伝えるものである。食育による人間形成を図</p>
--	--	--

<p style="text-align: center;">会 議 の 進 行 状 況</p>		<p>るものである。</p> <p>増田委員 朝食を食べさせない家庭がある。保護者へ指導しているのか。</p> <p>学校教育課長 学校では、食に関するパンフレットを配布したり、学級懇談会、PTA総会などを通して、保護者へ指導している。</p> <p>学校給食センター所長 給食の試食会を実施している。また、毎月の献立表の裏面に食に関する情報を掲載している。</p> <p>増田委員 朝食を食べないと、身体によくない。親子へ食の大切さを伝えてほしい。</p> <p>岸田委員 給食がセンター方式になって、学校から調理室が離れた。保護者に献立に関心をもってもらうために、本委員会において給食の見本や献立の選択など工夫をしてきた。本委員会の役割を伝え、理解してもらうことが大切である。</p> <p>学校給食センター所長 給食センターは、平成7年1月に設立され、安心安全でおいしい学校給食の提供が目的である。平成17年度から食育の取組が始まった。本委員会では、献立の確認、食材の選択等をしてもらっている。新任委員へこの委員会の意義を伝えたい。</p> <p>岸田委員 給食センターは、業者委託により運営されている。食材の選別は難しいが改善を行ってきた。委託内容と食材を吟味してほしい。</p> <p>学校給食センター所長 平成22年度から食材の購入は給食センターが直接行っている。</p>
--	--	--

<p>会 議 の 進 行 状 況</p>	<p>議案第35号 行田市同和対策集会所運営委員の委嘱について</p>	<p>鹿山委員 給食費が値上げされたが、献立に変化はあったのか。</p> <p>学校給食センター所長 現時点では、変化はない。市費からの持ち出しが増加したことにより値上げした。献立に地元産食材を使用すると割高にはなるが、地産地消の観点から献立を工夫していきたい。</p> <p>鹿山委員 発芽玄米は、ビタミン、ミネラル、食物繊維が多く、栄養価が高い。月2回の給食では、効果が少ない。今後、発芽玄米の使用を増やしてほしい。</p> <p>町田委員 給食センターの取組を、保護者へホームページで紹介したほうがよいのではないか。</p> <p>学校給食センター所長 ホームページでの広報をさらに工夫していきたい。</p> <p>教育長 他に何か質問等はあるか。</p> <p>【全委員承認】</p> <p>教育長提案、書記次長議案朗読</p> <p>ひとつくり支援課長 議案第35号について説明する。 本案は同和対策集会所須加集会所運営委員2名の辞任に伴い、新たに委員1名を委嘱するものである。 地元からの推薦をいただき上程したものであり、任期は、前任者の残任期間の平成29年4月30日までである。 須加集会所運営委員は、1名欠員となるが、後任者は現在のところ未定である。 なお、行田市同和対策集会所設置及び管理条例第12条には、「委員の定数は、10人以内とする」と定められているため、1名欠員だが、会議への支障はない。</p>
--	---	--

<p>会 議 の 進 行 状 況</p>	<p>議案第36号 行田市社会教育委員の委 嘱について</p> <p>その他報告事項 いじめそうだんホットラ インの相談状況について</p>	<p>教育長 何か質問等はあるか。</p> <p>【全委員承認】</p> <p>教育長提案、書記次長議案朗読</p> <p>ひとりづくり支援課長 議案第36号について説明する。 本案は行田市社会教育委員の任期満了に伴い新たに委嘱する ものである。 新任の委員について紹介させていただく。1番の者は行田市教 育研究会からの推薦で中学校長会の会長である。2番も同じく行 田市教育研究会からの推薦で小学校長会の会長である。3番の者 は行田市体育協会からの推薦で同協会の副理事である。4番の者 は行田市自治会連合会からの推薦で同連合会の副会長である。5 番の者は行田市PTA連合会からの推薦である。6番の者は行田 市子ども会育成連絡協議会からの推薦で同協議会理事である。7 番の者は行田市青少年育成会連絡協議会からの推薦である。12 番の者は元公民館長で地域生涯学習の知識経験が豊富であり、青 少年の健全育成について見識が深い。13番の者は元小学校教員 で、現在、民生児童委員である。表の空欄は、行田市文化団体連 合会からの推薦枠であるが同連合会の委員の改選時期と重なっ たため、後日提出予定となっている。 任期については平成28年6月1日から平成30年5月31 日までの2年間である。</p> <p>教育長 何か質問等はあるか。</p> <p>【全委員承認】</p> <p>教育研修センター所長</p> <p>教育長</p>
--	--	---

会議の進行状況		以上で本日の定例会を閉会とする。
---------	--	------------------

そ の 他 特 に 重 要 と 認 め る 事 項

- 1 次回定例会開催予定日 平成28年6月29日(水) 午後2時00分
行田市教育委員会 2A会議室

以上、顛末を記載して、その発言内容に相違がないことを証するため、ここに署名する。

教育長

委 員

委 員